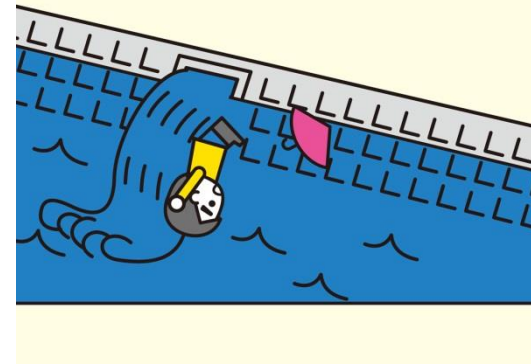


水難救助訓練施設(兼防火水槽)について

《 施設の仕様 》

- ・鉄筋コンクリート造
- ・容量約100立方メートル
6,700mm×5,000mm×2,700mm(内法)
- ・給水設備、安全柵、梯子を設置



《 特徴 》

- ・水中への転落車両を想定した溺水者の検索訓練、水難救助に必要な技術習得訓練を行うことが可能
- ・水深(約2.7m)を確保していることから、潜水士の適正判断にも活用可能
- ・水難救助訓練施設として使用していない時は、放水訓練等で使用する水利(防火水槽)として利用



西面より望む



北面の安全柵は取り外し可能

北面より望む